



きよかわむら 社協だより

2019
8
No.216



食後はポッチャに挑戦

ふれあい昼食会へ



7月11日、村保健福祉センターやまびこ館でふれあい昼食会が行われ17名が参加しました。

この日は、初メニュー「トマトと新たまねぎのサラダ」が登場。トマト、新たまねぎの新鮮野菜とかつお節、マヨネーズの絶妙なハーモニーで、参加者は「やっほらっほって美味しい」と舌鼓を打ちました。食後はパラリンピックの競技種目『ポッチャ』を行いました。ポッチャは、ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを個人か団体で競います。参加者は「初めてだけだった」と話していました。

8月号 おもな内容

- | | | | |
|---------------------|----|------------|----|
| ●特集 知ってください!「里親」のこと | 2P | ●知的障害者サロン | 3P |
| ●村緑ことぶき連合会の取り組み | 3P | ●社協からのお知らせ | 4P |
| ●ほのぼのクラブ三地区合同開催 | 3P | | |

※みなさまの会費の一部は「社協だより」の発行に充てさせていただきます。



子どもたちの幸せのために 知ってください！「里親」のこと

親の病気や離婚、虐待などさまざまな事情により家庭で生活できなくなった子どもを親に代わって育てる里親制度。日本では平成30年3月末日現在、児童相談所から3,326世帯が委託を受けて養育里親として活動されています。今回は、平成17年から里親として活動されている西川博之さんに話を伺いました。

Q なぜ里親になろうと思ったのですか。

A なかなか子どもに恵まれず不妊治療をしたのですが、結果はできませんでした。何とか子どもが欲しいと思いインターネットで調べたところ、里親制度のことを知り、厚木児童相談所に連絡し、話を聞いたのがきっかけです。



養育里親の西川博之さん

Q 活動して何か生活に変化はありましたか。

A 夫婦だけの生活の時には、妻の関心事は私だけでしたが、里子として長男が家に来た時から関心が子どもと私の半分半分になり、二人目が来た時には3分の1になりました。また、夫婦だけの時には、お互いの両親が家を訪ねて来ることはあまりなかったのですが、孫が出来てからは良く足を運ぶようになり、家庭全体が明るくなりました。

Q 里親としてのやりがいはどこにありますか。

A 親のレスパイト（休息）のために一時的に我が家へ来る子は、親が困っている訳です。親が困っている子どもを支援することによって、子どもがまた元の親の元へ戻って行くのを見ると、役に立てたなと思いやりがいを感じています。

Q 活動している中で難しいと感じることはありますか。

A 二人の子どもの時には特になかったのですが、三人目の子どもの発達が少し遅いようで気になっています。

Q どうやって乗り越えていくつもりですか。

A 今、発達障害の子どもが増えています。家の子が果たしてそうなのかまだわかりませんが、里親が発達の遅れた里子を見ることは多いです。里親支援機関、子育て支援機関などと連携しながら頑張っていきたいと思います。



Q 最後に、村民の方へメッセージをお願いします。

A 里親というと、時間やお金にゆとりのある高尚なイメージを持つかも知れませんが、私は妻と共働き。普通のサラリーマンです。里親を必要としている子どもは沢山います。気持ちがあれば誰でもできます。一人でも多くの方に里親に登録して欲しいと願っています。

支え合える地域を目指して

～村緑ことびき連合会の取り組み～

村緑ことびき連合会では、村と村社協の共催で地域支援事業担い手養成研修を6月下旬から煤ヶ谷地区の4ヶ所でスタートしました。この研修会は、地域の様々な課題を、住民による助け合いによって解決していくというものです。当日は、村緑ことびき連合会の会員の他に、民生委員、煤ヶ谷婦人会、サロン活動の運営者に集まっていたいただきました。各地区では、『集える場』

『見守り』『ちよっとしたお手伝い』など地域の課題を共有しました。今後は解決に向けて話し合いを進めていく予定です。



仲間にあえてよかった

～ほのぼのクラブ三地区合同開催～

7月25日、村生涯学習センターせせらぎ館2階・みどりホールでほのぼのクラブ（通所型サービス）を三地区合同で実施しました。日頃は曜日ごとに異なる参加者が集まり実施している同クラブ。この日は参加者が一堂に会し、午前中はポッチャ

で勝ち負けを競い、午後からは『いろり座』の公演を見て楽しみました。参加者は「一年に一度だけれど他の曜日の仲間にあえるのが楽しみ。ポッチャは勝ったし、公演も津軽三味線は迫力があって素敵だった」と喜んでいました。



カラオケを楽しみました

～知的障害者サロン～

毎月1回村保健福祉センターやまびこ館で実施している知的障害者サロン活動。7月23日は『カラオケを楽しむ』と会場を厚木市林のカラオケボックスへ移動して行いました。参加者は得意な歌を中心に10曲程度を熱唱。会場は熱気で溢れていました。この日最初と最後にマイクを握った川瀬亜矢子さんは、「カラオケは大好き。また来たい」と笑顔で話していました。



福祉のしごと 地域就職相談会 in 海老名

福祉の仕事に関心のある方、福祉分野に就労を希望される方、どなたでも参加できます。福祉の仕事について詳しく知ることができるこの機会をぜひご活用ください。

日時 令和元年8月31日(土)
12時30分～16時30分
会場 海老名市総合福祉会館
(海老名市めぐみ町6-3)
内容 ◆福祉のしごと就職支援ガイダンス
12時30分～13時45分
(受付開始 12時00分～)
高齢・障害・児童の各分野を代表して、福祉の事業所で働く職員の方が仕事のやりがい、魅力、働き方などについてお話しします。
※定員30名を超えた場合は、お断りする場合がございます。

◆福祉施設等就職相談会
14時00分～16時30分
(受付 13時30分～)
(最終入場 16時00分)
福祉の仕事の求人募集がある法人の担当者に職場環境、労働条件などを聞くことができます。無資格・未経験の方の参加も大歓迎！運営法人の違いをよく知るチャンスです。かながわ福祉人材センターのブースもあるので、資格取得や施設の種類についてなどわからないことは是非ご相談ください。キャリア支援専門員がご相談を受け付けます。

その他 入場無料。申し込み、履歴書不要。

お問い合わせ先

神奈川県社会福祉協議会
かながわ福祉人材センター
TEL 045-312-4816

人権フォーラムかながわ21 一人ひとりがかがやくために

日時 令和元年9月21日(土)
13時00分～16時00分
(開場 12時30分～)
場所 横浜市社会福祉センター 4階ホール
内容 ◆津久井やまゆり園のいま
13時20分～14時00分
◆大胡田誠氏、大石亜矢子氏による
トークショー&ミニコンサート
14時15分～15時50分
参加費 無料
定員 250名(申込み順)
申込み 電話、FAX、E-mail、またはホームページの申し込みフォームよりお申し込みください。

申込み・お問い合わせ先

社会福祉法人かながわ共同会
法人事務局人材企画部 担当：城所、中迫
TEL 046-265-0035
FAX 046-265-0036
E-mail hoj-kikaku@kyoudoukai.jp
ホームページ <https://www.kyoudoukai.jp>

寄付をありがとうございます

令和元年6月～令和元年7月

○清川かようクラブ(第11回きよかわ歌踊祭)様
60,000円

回収にご協力ありがとうございます

令和元年6月～令和元年7月

○ペットボトルキャップ 15件
○古切手 1件
○使用済みプリペイドカード 0件

はあと うおーむ

2ページ目で、里親に関する記事を書きました。「里親」と聞くと、どこか遠いことのように感じていませんか。日本は、先進諸国の中でも里親に関して圧倒的に遅れています。子どもは家庭的な環境で育てることが大切です。多くの方に里親を知っていただくきっかけになればと思います。

編集・発行

社会福祉法人
清川村社会福祉協議会
〒243-0195
神奈川県愛甲郡清川村煤ヶ谷2220-1
清川村保健福祉センターひまわり館内
電話 046(287)1118
FAX 046(287)2013